

# 剣 界

令和5年度



青森県剣道連盟

# 目次

青森県剣道連盟会長挨拶	2
青森県剣道連盟定例総会	3
県下春季剣道大会・国体予選会	4
東北高校選抜優勝大会	5
都道府県対抗剣道大会予選会	6
全日本女子剣道選手権大会予選会・青麗杯	7
全日本剣道選手権大会予選会・玄妙杯	7
実業団剣道大会	8
飛龍杯	9
十和田防犯剣道大会	10
高体連剣道競技専門部	11
中体連剣道専門部	14
全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会	16
総務部	19
事業部	19
審査部	20
強化部	21
講習部	22
少年指導部	24
女子部	25
居合道部	26
杖道部	27



青の煌めきあおもり国スポ  
2026 翔ける未来へ縄文の風に乗って  
第80回国民スポーツ大会

●あおもり国スポホームページ・SNSはこちら●

ホームページ

<https://aomorikokuspo2026.pref.aomori.lg.jp/>

ダンスレッスン映像公開ページ

<https://aomorikokuspo2026.pref.aomori.lg.jp/topics/3978/>

Youtube

[https://www.youtube.com/channel/UCSTmDEWLtgjb\\_DDtRiEdl5Q](https://www.youtube.com/channel/UCSTmDEWLtgjb_DDtRiEdl5Q)

Facebook

<https://www.facebook.com/aomorikokuspo>

Instagram

<https://www.instagram.com/aomorikokuspo>



発刊に当たって

青森県剣道連盟 会長 増田 知幸



令和五年度当連盟の年報をお届け致します。

令和五年二月末の定例総会は会計報告の説明資料等整わない部分があり、臨時総会開催を余儀なくされてスタート致しました。会長としてその反省に立ち、会計担当者や三名にするなど改善して理事長・事務局長とともに運営に当たりました。お陰様で「五年度決算書」を透明性あるものとして報告できました。これは会計監査三名の方々の適切なご指導のおかげなので深く感謝しております。

さて、令和八年（2026）一〇月の「第八十回国民スポーツ大会（七戸大会）」を目前にして、青森県チームはどのように準備しなければならないかが最大の関心事です。

現況では、少年女子（東奥義塾高校）が健闘して全国レベルで活躍しておりますが、成年男女も全国上位デビューを果たして、「青森県も頑張っているな」と全国に示して欲しいと願っています。そのためには、選手候補者の自覚と稽古参加意識の昂揚が一層求められると同時に、連盟として支援する方法を具体的に進めることが重要です。剣道競技の総合優勝を目指すことは目標ではありますが、その基盤づくりとして、青森県の剣道人が強化練習会にできるだけ参加して支援するなど剣道人のまとまりを図ることが急務です。そのことによつて「七戸国スポ」だけでなく、その前後を通じて県全体の競技レベルとお互いの基本重視の剣道を実践してほしいと願っています。

少年男子については、東北2県が代表となる現況だけに厳しいのです。「六年佐賀国スポ・七年滋賀国スポ」には青森県が連続して東北代表になるなど努力が必要です。さいわい県高体連剣道専門部には優秀な指導者が多いので、そのまとまりと、高校生選手候補者の性格や剣道上の特性を十分に引き出すような強化担当者・協力者の熱意と指導の工夫に期待します。

今日まで県剣連は「七戸国スポ」のターゲットエイジを小学生高学年の頃から育てて参りました。この生徒たちがいいよこの春高校一年生に入学します。この生徒たちは従前の中学生とは違って、継続したスーパージョー（亀井徹・山崎尚先生）による一貫した指導、コーチスキルアップでの稽古及び選抜選手による県外遠征で経験を積み重ねてきましたので、今の自分の力がどれくらいか自覚しております。まだまだ荒削りの素材ですが、今後の鍛錬によつて向上できます。高体連専門部の先生方には、目先の試合の勝ち方よりも、基本を更に練り上げ堂々と試合して勝つ剣道の指導を目指して、本番に備えてほしいと願っております。

結びになりましたが、これまでのご支援に感謝申し上げますとともに青森県剣道連盟の発展と、本県剣道人の活躍を心から願って擲筆します。

令和六年三月二日

## 令和五年度 青森県剣道連盟定例総会

令和五年二月二六日（アラスカ会館）

### ◎ 全日本剣道連盟表彰伝達

青森県剣道連盟表彰

剣道有功賞

齋藤 勝氏（元青森県剣道連盟幹事）

### 議事概要

一 全剣連専務理事理事長会議結果報告

二 庶務・事業等報告

三 各部報告

○ 総務関係について

○ 強化について

○ 講習会について

○ 級位・段位について

○ 広報について

○ 少年指導部から

○ 女子剣道について

○ 高体連から

○ 中体連から

○ 居合道部から

○ 杖道部から

四 令和四年度会計監査報告

五 令和四年度会計収支決算報告

六 令和四年度役員寄付金・国体団体協力金

及び支部・団体協力金の報告

七 長期計画に基づく予算編成について

八 東北剣道連盟役員会議の報告

九 常任理事会承認事項の審議

● 令和五年度事業計画について

● 令和五年度予算案について

● 役員の補充

● 運営部・専門委員一覧

● 青森国民スポーツ大会準備委員会組織図

● 国民スポーツ大会協力金募集について

十 その他





# 青森県春季剣道大会

(五月二十七日)  
カクヒログループスタジアム



一般男子団体戦  
優勝 青森刑務所  
準優勝 学校剣道連盟A  
第三位 県警機動隊B  
県警機動隊A



## 男子個人戦

二五歳未満の部

第一位 岩淵 (明治大)  
第二位 福原 (新城中教)



三五歳未満の部

第一位 高田 (青森刑務所)  
第二位 相馬 (県警機動隊)



## 四五歳未満の部

第一位 榎 (警察学校)  
第二位 古屋敷 (青森中央高教)



五五歳未満の部

第一位 廣谷 (天畑中教)  
第二位 前堀 (野辺地中教)



## 五五歳以上の部

第一位 渡邊 (青森刑務所)  
第二位 鳴海 (青森刑務所)



女子三〇歳未満の部

第一位 田澤 (国土館大)  
第二位 齋藤 (筑波大)



女子四〇歳未満の部

倉本 (青森第二養護 学校教)  
女子四〇歳以上の部

安田 (学校教育センター)



### 第三五回東北高等学校剣道選抜優勝大会

令和五年二月一日、秋田県立武道館にて、見出しの大会が開催されました。

結果は、女子の部で本県の東奥義塾高校が決勝で秋田商業高校に四対〇で勝利し、見事優勝しました。昨年の岩手県大会はコロナで大会が中止、一昨年の青森県大会は入賞出来ませんでした。その悔しさをバネに良く頑張ってくれました。

また、男子の部は五所川原一高が準々決勝で盛岡南高に代表戦で惜しくも敗れましたが、健闘しました。

青森県剣道連盟理事長 藤田幹彦





全日本都道府県対抗剣道大会予選会

令和五年二月二日 青森大学正徳館

※以下の通りの代表選手が決定

代表選手

○男子の部

○  
女子の部

大將	副將	三將	中堅	五將	次鋒	先鋒
渡邊大	逢坂和志	相馬健志	逢坂颯	傳法優生	神光希	金枝諒

大将	副将	三将	中堅	五将	次鋒	先鋒
太田祐子	安田麻衣	佐藤千春	倉本みづき	相馬夏実	齋藤とも	島村咲愛

第七十一会全日本都道府県対抗剣道大会

令和五年四月二十九日 大阪府

青森県  
(二回戦)  
岐阜県

	大	副	三	中	五	次	先
	渡	逢	相	逢	佐	神	金
	邊	坂	馬	坂	藤		枝
2							
(3)		ド	メ		メ		
対					×		
(8)				ツ		ド	メ
4	メ			コ	コ	コ	メ
	森	樹	野	坂	中	土	黒
	井	下	田	本	西	屋	井

第十五会全日本都道府県対抗女子剣道大会  
令和五年七月九日 日本武道館

青森県  
（二回戦）  
和歌山県

	大	副	三	中	五	次	先
	太	安	佐	倉	相	齋	島
	田	田	藤	本	馬	藤	村
1							
(3)	メ	メ	コ				
対	×		×				×
(6)	メ		メ	メ	メ	メ	
3					コ		
	菅	林	宮	坂	大	東	松
	谷		本	口	西	堅	井



## 第十七回青麗杯

### 青森県女子剣道選手権大会

第六二回

全日本女子剣道選手権大会青森県予選会

令和五年六月十一日 青森県武道館

第一位 齋藤 とも (筑波大)

第二位 太田 彩月 (中央大)

第三位 北河 ひなた (東奥義塾高校)

島村 咲愛 (東奥義塾高校)



### 第六十二回全日本女子剣道選手権大会

令和五年九月三日 奈良県

一回戦

齋藤とも コ 丸山里桜 (千葉)

二回戦

齋藤とも ム 妹尾舞香 (福岡)

### 第七十一回全日本剣道選手権大会

令和五年十一月三日 日本武道館

一回戦

相馬健志 ム 橋本桂一 (埼玉)



## 第十七回玄妙杯青森県剣道選手権大会

### 第七一回全日本剣道選手権大会県予選会

令和五年七月八日 (青森大学)

第一位 相馬 健志 (県警機動隊)

第二位 鶴田 和也 (県警機動隊)

第三位 佐藤 大樹 (県警機動隊)

第三位 高田 達 (青森刑務所)





◎ 第五〇回青森県実業団剣道選手権大会

令和五年七月二三日

平内町長率体育館

団体戦

優勝 平井歯科医院 A (青森市)

準優勝 ㈱寿サービス (平内町)

第三位 大間運輸 (大間町)

第三位 八戸市庁 A (八戸市)



団体戦には一七チーム、九七人が参加し猛暑の中、熱戦が展開された。また、団体戦終了後、五〇周年記念試合が行われ、「実業団・自衛隊・県連指定選手」対「県警・警務官・学剣連合」の一五人戦による紅白試合が挙行された。

団体優勝の 平井歯科 A チーム



第三位の大間運輸チーム



第四十一会夏季剣道錬成青森大会  
兼第二十五会飛龍杯争奪剣道大会

八月二十日 マエダアリーナ

四年ぶりに開催された大会には、青森県・北海道・秋田県から小学校・中学校の計六十二チーム、約三百人の選手が参加し、小学校低学年・高学年の団体・個人戦と中学校男女団体戦が行われ、白熱した攻防が展開されました。

団体戦

○ 小学校低学年

- 第一位 森剣道スポーツ少年団
- 第二位 紫雲会
- 第三位 秀峰館

- 第三位 柏葉少年剣士隊

○ 小学校高学年の部

- 第一位 三石翔武館
- 第二位 函館五稜剣友会
- 第三位 函館柳雪館大野道場
- 第三位 尚道館山野辺道場

○ 中学校男子の部

- 第一位 三石翔武館
- 第二位 函館柳雪館大野道場
- 第三位 一刀塾A

- 第三位 南部少年剣士隊

○ 中学校女子の部

- 第一位 十和田中学校
- 第二位 尚道館山野辺道場
- 第三位 三内中学校A
- 第三位 佃中学校A

個人戦

○ 小学校男子低学年

- 第一位 三十尾将人

(森スポーツ少年団)

- 第二位 中坂光 (函館柳雪館)

- 第三位 福島新大 (志道館)

- 第三位 伊藤晴琉

(函館柳雪館大野道場)

○ 小学校男子高学年

- 第一位 立花右京 (函館五稜剣友会)
- 第二位 佐藤成之助 (三石翔武館)
- 第三位 及川結翔 (三石翔武館)
- 第三位 成田桜人 (尚道館山野辺道場)

○ 小学校女子低学年

- 第一位 渡辺美桜 (三石翔武館)
- 第二位 成田明空 (紫雲会)
- 第三位 西里紫 (函館五稜剣友会)
- 第三位 古屋敷星明

(尚道館山野辺道場)

○ 小学校女子高学年

- 第一位 野口愛乃 (三石翔武館)
- 第二位 成田美咲 (紫雲会)
- 第三位 三浦妃聖愛 (紫雲会)
- 第三位 坂上美彩 (南部少年剣士隊)





## 第四九回十和田市民防犯剣道大会

令和五年四月二十九日（土）志道館

### 高校男子の部

優勝 沼田 弓槻（三本木高）  
準優勝 畑中 勘仁（三本木高）  
第三位 三浦 一毅（三本木高）  
第三位 吉田 遼太郎（三本木高）



### 高校女子の部

優勝 工藤 夏未（三本木高）  
準優勝 泉館 しおり（三本木高）  
第三位 成田 真珠（三本木高）  
第三位 奈良 風花（三本木高）



令和五年五月四日（木・祝）志道館  
小学校四年生以下の部

### 優勝 松本 來和（志道館）

準優勝 漆館 保宝（藤坂北翠館）  
第三位 福島 新大（藤坂北翠館）  
第三位 今泉 慶（藤坂北翠館）  
小学校五年生以上の部

### 優勝 古館 纏（藤坂北翠館）

準優勝 田中 悠斗（藤坂北翠館）  
第三位 佐々木 一颯（藤坂北翠館）  
第三位 高森 あき（藤坂北翠館）  
中学校男子の部

### 優勝 長根 隆三（三本木中）

準優勝 佐々木 悠志（三本木中）  
第三位 石川 琳太（十和田中）  
第三位 木明 夢貴（三本木中）  
中学校女子の部

### 中学校女子の部

### 優勝 松坂 煌（十和田中）

準優勝 高橋 一華（三本木高校付属中）  
第三位 平尾 華鈴（十和田東中）  
第三位 山田 光夏海（十和田中）

## 青森県高体連剣道専門部

### ○ 第三十二回全国高等学校剣道選抜大会

令和五年三月二十六日～二十八日

愛知県・春日井市総合体育館

#### 【男子団体】

一回戦

五所川原第一 0対2 四天王寺東  
(大阪府)

#### 【女子団体】

一回戦

東奥義塾 3対0 盛岡南  
(岩手県)

二回戦

東奥義塾 3対0 岡崎城西  
(愛知県)

三回戦

東奥義塾 3対0 大社(島根県)

準々決勝

東奥義塾 2対0 島原(長崎県)

準決勝

東奥義塾 0対4 中村学園女子  
(福岡県)

東奥義塾高等学校 三位入賞

### ○ 第三十七回魁星旗争奪

全国高校女子剣道大会

令和五年三月二十九日～三十一日

秋田県立武道館大道場

#### 【女子団体】

東奥義塾 三位入賞

### ○ 青森県高等学校春季剣道選手権大会

令和五年五月十三日～十四日

十和田市総合体育センター

#### 【男子団体】

優勝 五所川原第一高等学校  
(五大会ぶり六回目)

準優勝 弘前実業高等学校

三位 青森西高等学校

三位 八戸工業大学第一高等学校

#### 【女子団体】

優勝 東奥義塾

準優勝 青森西高等学校  
(十六大会連続十六回目)

三位 五所川原第一高等学校

三位 青森北高等学校

#### 【男子個人】

優勝 山田 昂毅(五所川原第二)

準優勝 金枝 諄(五所川原第二)

三位 中林 来華(青森西)

三位 御廐敷 琉生(青森西)

#### 【女子個人】

優勝 木村 優花(東奥義塾)

準優勝 山田 那々良(東奥義塾)

三位 島村 咲愛(東奥義塾)

三位 北河 ひなた(東奥義塾)

### ○ 青森県高等学校総合体育大会剣道競技

令和五年六月二日～三日

カクヒログループスタジアム

#### 【男子団体】

優勝 五所川原第一高等学校  
(六大会ぶり六回目)

準優勝 八戸工業大学第一高等学校

三位 青森西高等学校

三位 弘前実業高等学校

#### 【女子団体】

優勝 東奥義塾高等学校

準優勝 青森西高等学校  
(十五大会連続十六回目)

三位 五所川原第一高等学校

三位 弘前実業高等学校

#### 【男子個人】

優勝 平田 成真(五所川原第二)

準優勝 金枝 諄(五所川原第二)

三位 滝田 鳳太(青森商業)



「剣 界」

三位 松名瀬 天翔(五所川原第二)  
五位 成田 幹汰(青森西)

弘前実業 予選リーグ敗退  
東奥義塾 第三位

五位 吹田 天伸(五所川原第二)

【女子個人】

予選リーグ  
東奥義塾 2対2 明豊(大分県)  
東奥義塾 3対0 翔凜(千葉県)  
※予選リーグ敗退

五位 小山内 祐人(弘前実業)

準優勝 島村 咲愛(東奥義塾)

五位 大山 泰芽(青森西)

【女子個人】

五位 阿部 佑莉愛(東奥義塾)

【女子個人】  
島村 咲愛(東奥義塾) 三回戦敗退  
阿部 真莉愛(東奥義塾) 四回戦敗退

優勝 島村 咲愛(東奥義塾)

準優勝 阿部 真莉愛(東奥義塾)

○ 第九十四回玉竜旗高校剣道大会

三位 北河 ひなた(東奥義塾)

令和五年七月二十五日～二十六日  
福岡市総合体育館

○ 第五十回東北総合体育大会

三位 山名 来実(東奥義塾)

【女子団体】  
東奥義塾 三位入賞

(ミニ国体剣道競技)

五位 木村 優花(東奥義塾)

【女子団体】

令和五年八月十九日  
岩手県・二戸市総合スポーツセンター

五位 阿部 佑莉愛(東奥義塾)

【少年男子】

○ 第七十回全国高等学校剣道大会

○ 第六十九回東北高等学校剣道選手権大会・  
第五十四回東北高等学校女子剣道選手権大会

(北海道インターハイ)

令和五年六月二十四日～二十五日

令和五年八月三日～六日

北海道・よつ葉アリーナ十勝

秋田県・秋田県立武道館大道場

【男子団体】

【男子団体】

青森県 1 対 1 山形県(代表負け)  
青森県 0 対 1 秋田県  
青森県 0 対 4 福島県  
青森県 1 対 1 宮城県(本数負け)  
青森県 2 対 1 岩手県  
※ 六位(一勝四敗)

八戸工業大学第一 準々決勝敗退

青森西 予選リーグ敗退

五所川原第一 1対3 東京農大二(群馬県)  
五所川原第一 2対1 羽咋工業(石川県)

平田・山田・金枝・松名瀬(五所川原第二)  
御厩敷(青森西) 清水(八戸工業大学第二)

五所川原第一 準々決勝敗退

※予選リーグ敗退

【女子団体】

【男子個人】  
平田 成真(五所川原第二) 二回戦敗退  
金枝 諄(五所川原第二) 二回戦敗退

青森西 予選リーグ敗退

五所川原第一 予選リーグ敗退

【女子団体】

【少年女子】  
青森県 3 対 0 宮城県

「剣 界」

青森県 2 対 0 山形県  
 青森県 2 対 0 福島県  
 青森県 1 対 0 岩手県  
 青森県 2 対 1 秋田県

※第一位（5勝0敗）

鹿児島国体への出場権獲得  
 阿部・島村・木村・山名・北条・淡路  
 （東奥義塾）

○ 青森県高等学校新人剣道選手権大会

令和五年十一月四日～五日

八戸市体育館

【男子団体】

優勝 八戸工業大学第一高等学校

（初優勝）

準優勝 三本木高等学校

三位 八戸北高等学校

三位 八戸聖ウルスラ学院高等学校

【女子団体】

優勝 東奥義塾高等学校

（十六大会連続十八回目）

準優勝 青森西高等学校

三位 八戸北高等学校

三位 三本木高等学校

【男子個人】

優勝 木村 晟（青森北）

準優勝 作田 楽空（五所川原第二）  
 三位 夏目 麻虹陽（青森西）  
 三位 藤巻 佑一（青森山田）

【女子個人】

優勝 井澤 李美（東奥義塾）  
 準優勝 阿部 佑莉愛（東奥義塾）  
 三位 淡路 咲来（東奥義塾）  
 三位 小林 心乃（東奥義塾）

○ 第三十六回東北高等学校剣道選抜優勝大会

令和六年二月十日

宮城県・塩釜ガス体育館

【男子団体】

八戸北 予選リーグ敗退

八戸工業大学第一 予選リーグ敗退

三本木 予選リーグ敗退

八戸聖ウルスラ学院 予選リーグ敗退

【女子団体】

東奥義塾 優勝（二大会ぶり八回目）

三本木 予選リーグ敗退

青森西 予選リーグ敗退

八戸北 予選リーグ敗退

【今年度を振り返って】

5月に新型コロナウイルス感染症が五類に位

置付けられたことで、今年度予定された大会は、コロナ禍前と同様に開催することができ、また、体調不良者が発生することもなく各大会とも無事終了することができました。これも青森県剣道連盟の皆様の御協力の賜物であり、この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

令和六年度は、本県で開催される第八十回国民スポーツ大会における少年男女代表の中心となるターゲットエイジが高校へ入学する年度となります。本専門部としては、この大会での目標を『男女ともに優勝』に設定しています。目標達成に向けて、強化事業を推進していく予定です。青森県剣道連盟の皆様の御協力なくして、この目標は達成できません。

来年度も引き続き、県内大会における大会運営への御協力、また、国スポ強化事業への御協力を頂ければ幸いです。今後とも、御指導御鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

専門委員長 高津 博之

## 中体連剣道専門部

### ◎ 青森県中学校春季剣道選手権大会

五月三日（マエダアリーナ）

#### 男子団体戦

- 第一位 青森南中学校
- 第二位 田名部中学校
- 第三位 三本木中学校・弘前第五中学校

#### 男子個人戦

- 第一位 高間（南部中学校）
  - 第二位 成田（油川中学校）
  - 第三位 細川（長者中学校）
- 内山（波打中学校）

#### 女子団体戦

- 第一位 十和田中学校
- 第二位 田名部中学校
- 第三位 大間中学校・小中野中学

#### 女子個人戦

- 第一位 松名瀬（新城中学校）
  - 第二位 廣谷（大間中学校）
  - 第三位 松坂（十和田中学校）
- 山田（十和田中学校）

### ◎ 青森県中学校体育大会夏季大会

七月十六日～七日（青森県武道館）

#### 男子団体戦

- 第一位 平内中学校
- 第二位 青森南中学校
- 第三位 田名部中学校・弘前第五中学校

#### 男子個人戦

- 第一位 成田（油川中学校）
  - 第二位 日山（白山台中学校）
  - 第三位 竹内（弘前第五中学校）
- 高間（南部中学校）

#### 女子団体戦

- 第一位 東北中学校
- 第二位 新城中学校
- 第三位 沖館中学校・大間中学

#### 女子個人戦

- 第一位 松名瀬（新城中学校）
  - 第二位 廣谷（大間中学校）
  - 第三位 山田（十和田中学校）
- 高橋（三高付属中学校）

### ◎ 東北中学校剣道大会

八月二日～三日（秋田市）

#### 男子団体戦

- 平内中学校（予選リーグ敗退）
- 青森南中学校（予選リーグ敗退）
- 田名部中学校（予選リーグ敗退）
- 弘前第五中学校（予選リーグ敗退）

#### 男子個人戦（入賞者なし）

#### 女子団体戦

- 東北中学校（予選リーグ敗退）
  - 新城中学校（予選リーグ敗退）
  - 沖館中学校（予選リーグ敗退）
  - 大間中学校（予選リーグ敗退）
- 女子個人戦
- 第一位 松名瀬天絆（新城中学校）
  - 第五位 廣谷彩心（大間中学校）

### ◎ 全国中学校剣道大会

八月十八日～八月二十日（愛媛県松山市）

#### 男子団体戦

- 平内中学校 ○勝二敗（予選リーグ敗退）
- 男子個人戦
- 成田（油川中学校）一回戦敗退
  - 日山（白山台中学校）一回戦敗退

#### 女子団体戦

- 東北中学校 ○勝二敗（予選リーグ敗退）
- 女子個人戦
- 松名瀬（新城中学校）三回戦敗退
  - 廣谷（大間中学校）一回戦敗退

### ◎ 青森県中学校剣道競技新人大会

十月二八日（八戸市体育館）

#### 男子団体戦

- 第一位 弘前第五中学校

「剣 界」

第二位 田名部中学校

第三位 三本木中学校・平内中学校

男子個人戦

第一位 木明（三本木中学校）

第二位 日山（白山台中学校）

第三位 廣谷（大間中学校）

長根（三本木中学校）

女子団体戦

第一位 長者中学校

第二位 沖館中学校

第三位 弘前第五中学校・五戸中学校

女子個人戦

第一位 阪田（三沢第一中学校）

第二位 竹内（大間中学校）

第三位 工藤（沖館中学校）

畑島（田名部中学校）



「剣 界」

第一八回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会

とき 九月一七日(日)  
ところ おおきにアリーナ舞洲

監督 成田 長憲 (石川中学校教諭)  
先鋒 松名瀬 天絆 (新城中 3年)  
次鋒 廣谷 彩心 (大間中 3年)  
中堅 高間 慎平 (南部中 3年)  
副将 日山 真秀 (白山台中 2年)  
大将 成田 龍飛 (油川中 3年)

中学校団体の部 予選リーグ

青森県 1 (3) 2 (4) 山口県  
先鋒 松名瀬 メ 飯田  
次鋒 廣谷 メ 濱田  
中堅 高間 メ 中嶋  
副将 日山 メ 土田  
大将 成田 メ コ 橋本

青森県 3 (5) 1 (3) 富山県  
先鋒 松名瀬 メ 木下  
次鋒 廣谷 メ コ 奥村  
中堅 高間 メ 寺前  
副将 日山 メ コ 中川  
大将 成田 メ メ 佐藤

※ 三県が一勝一敗、代表決定戦となる。

予選リーグ代表決定戦  
青森県 成田 メ 佐藤 富山県

決勝トーナメント

青森県 0 (1) 4 (7) 長崎県  
先鋒 松名瀬 コメ 久保  
次鋒 廣谷 メ 宮崎  
中堅 高間 寺前  
副将 日山 メ 馬場  
大将 成田 メ 伊藤

初戦の山口県戦は、お互い初戦ということもあり、序盤は動きに堅さの見られる試合であった。先鋒松名瀬選手は積極的にしかけ技をくり出す。相手選手の小手面に対し、面を合わせ、技ありの一本勝ちでチームに流れを呼び込む。



流れをつなぎたい次鋒廣谷選手であったが、試合開始早々、試合巧者の相手に間合いを詰められ、不用意に面を合わせてしまい面の一本負け。同数で迎えた中堅高間選手は試合開始から二段技を中心に果敢に攻め込む。相手が引き胴で下がった瞬間、すかさず間合いを詰めて面を決めて先制する。勢いに乗って攻め続けるも、試合後半、技が単調になってしまい、小手面に面を合わせられ、面を取られる。試合終了間際、面に旗が一本上がる場面もあったが、決めきれず引き分けとなった。副将日山選手も体格を生かし果敢に攻めこむ。しかし、一瞬足が止まったところに面を打ち込まれ先制を許す。取り返したいところであったが、試合をうまく運ばれそのまま一本負け。迎えた大将戦。二本勝ちで逆転勝利という状況の中、成田選手が開始早々、鋭く攻め入り、小手を決める。動揺を隠せない相手大将が不用意に技を出してくるところに成田選手が面で一本かと思われる技があったが、旗が一本しか上がらず、試合終盤へ。終始、成田選手のペースで試合が進んでいたものの、小手を打ったあとの不十分な間合いの隙を狙われ、逆に面を打ち込まれ、一本を許す。試合はそのまま引き分けとなり、2対1で初戦の山口県戦を落とした。

二戦目は富山県戦。先鋒松名瀬選手は一戦目に続き、積極的に技をくり出す。しっかりと溜めをつくり、相手の小手の打ち終わりを見事に捉え、面の一本勝ちを収め、先鋒としての役割を果たす。次鋒廣谷選手は相手に攻め入られた場面で不用意に面技を出したところに小手を合わせられて先制を許すも、逆に相手が不用意に入りすぎた場面で崩れずにまっすぐな面で一本を取り返し、引き分けでつないだ。中堅高間選手は一戦目同様、二段技を中心に粘り強く試合を展開した。引き技で下がったところを相手に追われるが、つくりが早かったことで、相手をしっかりと引き込むことができ、合小手面で一本先取。その後は一戦目の反省を生かし、技が単調になることなく一本勝ちにつなげた。副将日山選手は自分の持ち味を生かす、強気な剣道を見せる。相手の起こりを捉える見事な面と小手を連取し、二本勝ちでチームの勝利を決めた。富山対山口戦の結果次第ではリーグ戦突破の可能性もあるので、一つでも多く勝ち星をあげておきたい大将戦。大將成田選手が相手の起こりを捉え、小手ありかと思われたが、後打ちの面と旗が割れ、相手の面となった。その後は相手のペースで試合が進み、引き面を取られ、二本負けとなったが、チームは3対1で勝利を収めた。

富山対山口戦は富山県が勝利し、3チームが1勝1敗で並び、勝者数で青森対富山の代表決定戦となった。代表決定戦は大將成田選手。先ほど大將戦で負けている相手で、厳しい試合展開ではあったものの、延長戦開始直後、相手が中途半端に引き技で下がったところに面を決め、ワンチャンスをものにし、予選リーグ突破を決めた。決勝トーナメント1回戦は予選リーグで東京と大阪Aに勝利し、波にのる長崎県。予選リーグ2勝と安定した調子をみせる先鋒松名瀬選手だったが、相手選手の素早い仕掛けや多彩な技に翻弄され、終始相手のペースで試合が進み、小手と面の二本負けとなった。一本でも返したい次鋒廣谷選手であつたが、連打で畳みかけてくる相手選手に押され、面の一本負けとなった。2敗で迎えた中堅戦。中堅高間選手が強気に攻める。一本かに思われた打突もあつたが、決めきれず引き分けで副将につないだ。副将日山選手は富山戦同様、気迫のこもった強気な剣道を展開し、見事に面を先制するが、一本を取ったあとに守りの気持ちが強くなったこともあり、後打ちが多くなり、小手と面を取り返され、チームの敗退が決まった。大將成田選手も善戦するも打ち終わりを狙われ、面を二本取られ、4

対1で敗退となった。



リーグ戦の結果は1勝1敗でリーグ代表決定戦を制しての決勝トーナメント進出と運も味方したところもあつたが、すべての選手が自分の持ち味を発揮した結果だったと感じた。(リーグ戦から決勝トーナメントの3試合で全員が一本以上とることができた。)また、先鋒松名瀬や大將成田は昨年度も今大会を経験していることや県内での錬成会や県外遠征、直前の宮城遠征、福島遠征でしっかりと力をつけてきた国スポのターゲットエイジだったからの結果だったと思

## 「剣 界」

われる。昨年度と比べ、一本を取る力やチーム内での役割を考えた試合運びなど、総合力は上がってきた。課題としては、勝負所で決めきる力をもっと磨く必要がある。前日の錬成会や大会当日においても、惜しい一本を取り切れず、逆に取り返される場面がまだまだ見られる。今後は継続して一本一本をしっかりと打ち切る指導を強化していきたい。また、技前の攻め方、相手を崩してから技につなげる動きを高めていく必要がある。優勝した長崎県は技前の攻めが多彩で打突までの相手を崩す細かい作業が多かった。本県はどちらかといえば自分から崩れながら間合いに入るような展開が多かったため、このあたりも課題の一つとなってくると思われる。十数年ぶりにリーグを突破し、優勝した長崎県と決勝トーナメントで試合ができたことは大きな経験になった。今回出場した選手が中心となって、今後高校年代につながってほしいと願う。

今回は選手の全保護者が大阪まで足を運び応援していただきました。多くの場面で助けていただき感謝でいっぱいです。本当にありがとうございます。

（文責 県中体連剣道専門委員長 成田 長憲）



## 総務部

○ 剣道審査合格者（全国審査）

### 六段

愛知審査会（五月十四日）

工藤直美（52）

井筒健一（53）

愛知審査会（十一月十一日）

田澤綾乃（34）

東京審査会（十一月十五）

山村星子（47）

### 七段

愛知審査会（五月十三日）

亀岡一幸（43）

古川洋（48）

新潟審査会（八月五日）

榊和也（39）

甲地清輝（53）

平田智大（55）

愛知審査会（十一月十一日）

古屋敷誉将（37）

安田麻衣（41）

東京審査会（十一月十六日）

秋元学（46）

大屋顕二（80）

○ 剣道称号合格者（錬士・教士）  
教士

東京審査（十一月十五日）

笹原京四郎（51）

大西俊晃（40）

浅石英一（58）

### 錬士

京都審査（五月六日）

竹浪雄志（43）

### 【総括】

三年後の青森国スポに向けた取り組みの機運が感じられなかった。成年強化部主導で、二月から定期稽古会を計画実施してきたものの、参加者が少なく、広く県内の県道愛好家に浸透できなかった。十二月二日に行われた五部会対抗剣道大会が行われた際、各団体の参加者が多く集まり盛況な稽古会が開催され、各団体を通しての通知案内が必要不可欠と感じた。

また小段審査における県剣連としての講習会を定期的に開催することによって、県内の高段者の人数がことは間違いないと確信する。

## 事業部

予定されていた大会は予定通り開催でき、会場準備等にご協力いただいた担当者には感謝申し上げます。

また、強化部と連携し、成年の部の強化訓練を計画し実施しました。実施に当たって、まずは稽古会を実施することを目標に計画しましたが、春先の都道府県大会前には、選手の参加が見られましたが、大会終了後はなかなか集まらない傾向にあったので、来年度からは、早期の強化指名選手の決定、代表選手の意識改革が望まれる。



## 審査部

## 一 令和5年度受審者・合格者一覧

令和5年度 審査部まとめ									
1 受審者・合格者一覧									
	受審者	合格者		備考	再受審者		合格者		
		合格者数	合格率		学科	形	合格者数	合格率	
初段	男	112	101	90.2%	学科再受審(6) 形再受審(1)	2	2	100.0%	
	女	90	90	100.0%					
	計	202	191	94.6%		2	2	100.0%	
二段	男	95	90	94.7%	形再受審(3)	1	1	100.0%	
	女	62	61	98.4%					
	計	157	151	96.2%		1	1	100.0%	
三段	男	46	35	76.1%	学科再受審(5)	4	4	100.0%	
	女	31	29	93.5%		1	1		
	計	77	64	83.1%		5	6	100.0%	
四段	男	14	10	71.4%	形再受審(1)	2	1	50.0%	
	女	6	4	66.7%					
	計	20	14	70.0%		2	1		
五段	男	4	4	100.0%	1	1	2	100.0%	
	女	1	1	100.0%					
	計	5	5	100.0%		1	2	100.0%	

## 二 開催状況

○ 弘前審査会(七月九日)

弘前海洋センター

○ 八戸審査会(九月九日)

南郷体育館

○ 定例審査会(十一月九日)

カクヒログループスタジアム

○ 臨時審査会(令和六年一月十四日)

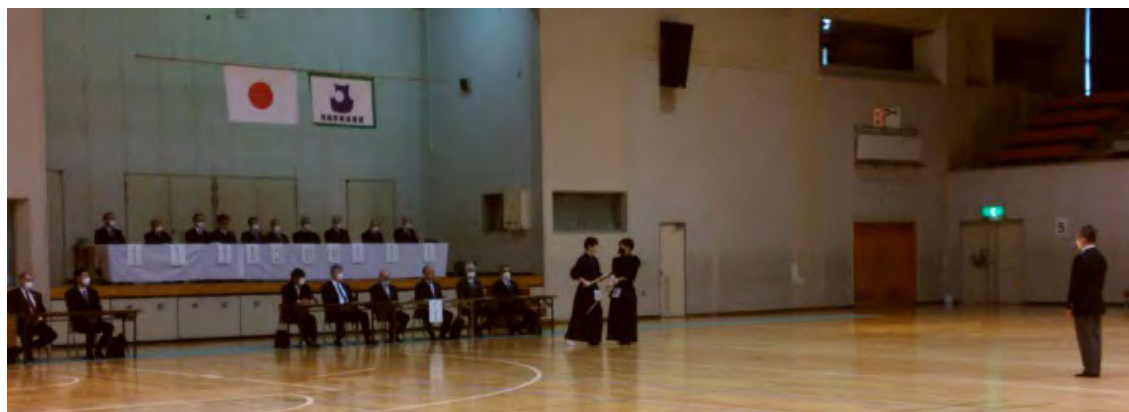
みちぎんドリームスタジアム (青森市)

## 三 課題(検討事項等)

- ・ 打合せによる立会い要領の徹底
- ・ 審査員の選考(女性審査員)
- ・ 受審者の人数による審査要領
- ・ 着装及び校名入りの稽古着、袴

## 四 審査状況

○ 定例審査



## 強化部

### 一 総括

○ 青森大学において、水曜日、土曜日に定期的に稽古会を実施した。

○ 四月、七月、亀井・山崎両先生を招聘し、都道府県大会及びミニ国体の出場選手の強化を図った。

○ 四月、花巻市において行われた東北合同稽古会に都道府県大会出場選手等が参加した。

○ 六月、岩沼市において行われた東北合同稽古会に東北北海道大会出場選手等が参加した。

○ 八月、尚道館において、女子都道府県大会出場選手の強化を図った。

○ 九月、水戸市において行われた東日本剣成会に国体出場選手等が参加した。

### 二 課題の改善策、抱負等

○ 本年三月、剣道連盟で強化指定選手を指名いたしました。指名選手全員が揃って稽古会を実施することができなかった。

○ まだ、コロナの影響で、一同に会した稽古会を実施することが難しい状況ではあったが、来年度からは、強化選手が積極的に稽古に参加できる体制の構築が必要である。

○ 東北、全国レベルの大会に向けては、出場する選手のみ招聘して稽古会を実施するのではなく、可能な限り強化選手の参加を促し、青森県剣道連盟が一丸となって取り組んでいく必要がある。

○ コーチスキルアップ事業等の強化につながる事業については、中学、高校、一般のそれぞれ強化選手を中心に招聘して、青森県全体で実施することが有意義であると考えられる。

○ 高体連で実施する強化練習については、一般の強化選手も参加することが望ましい。

○ 来年度からは、一般についても強化選手を県外へ派遣しての強化も必要である。

○ 強化選手を三年後に向けて徐々に絞り込み、より密度の濃い強化を実施したい。

○ 国スポに向けたバイザーの早期決定に取り組む必要がある。

青森大学での強化稽古会



## 講習部

### 一 事業

#### ① 青森地区伝達講習会 四月八日

カクヒログループスタジオ

受講者 七十二名

日本剣道形 審判法 指導法

#### ② 津軽地区伝達講習会

五月二十日 弘前海洋センター

受講者 二十四名

日本剣道形 審判法 指導法

#### ③ 南部地区伝達講習会

八月二十六日 七戸武道館

受講者 二十八名

日本剣道形 審判法 指導法

#### ④ 公認審判員講習会 九月二十四日

青森市みちぎんどリームスタジアム

受講者 二十八名

審判法 公認審判員審査

### 二 総括

#### ① 伝達講習会について

- ・ 受講者は、昨年度に比べ二十名ほど減になっている。

・ 全県連からは、コンプライアンスの徹底について、新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法等

についての伝達があった。

- ・ 講習は日本剣道型を中心に実施したが、みな熱心に受講されていた。

日本剣道形において、三段以下の受講者と七段の受講者をペアにして実施したところ、三段以下の受講者から適切な指導を頂いたと好評であった。次年度以降も継続していきたい。ただ、日本剣道型が曖昧な受講者が多く平素からの稽古を促した。

- ・ 審判法についての配当時間をもう少し増やしたい。

#### ② 公認審判員講習会について

- ・ 昨年二回実施したが受講者が少ないことから、今年度は年一回の開催とし一日日程で行った。全体では八名の減となったが、審判実技に時間を費やし審判技術の習得に努めることができ、受講者全員が合格した。

#### ③ 全体について

アンケート結果から、講習内容等は概ね良好であったが、暑さ対策や音響の問題が指摘されたので今後改善を図っていききたい。講習部員の協力の下スムーズに運営できた。

### 三 まとめ

- 全ての講習会を従来通り一日日程で実施したところ、充実した講習になったものと思われる。来年度も一日日程で実施したい。

- 伝達講習会及び公認審判員講習会への参加数を維持増加させるためにも、公認審判員規定の再確認及び遵守が必要と思われる(特に三年以内の受講)。

- 中央講習会へは講習部員から参加し、今後部員間で更に研修を積み、分かりやすい講習会としていきたい。

### 【公認審判員講習会実施状況】





「剣 界」





## 少年指導部

### 一 総括

#### ○ 少年剣道指導部の基本的指導方針

「少年剣士の将来を見据えた

基本技術の拾得」

#### ○ 中心的事業内容

強化練習の実施

#### ○ 少年都道府県大会県予選会実施

令和五年六月十日

代表選手五名・強化選手二十五名決定

#### ○ 強化練習（代表選手及び強化選手対象）

七戸町立武道館にて、感染対策、熱中症対策に配慮し実施した。

#### ① 六月二十五日

選手二十八名 指導部三名

#### ② 七月九日

選手二十六名 指導部四名

#### ③ 七月二十三日

選手二十五名 指導部五名

#### ④ 八月二十七日

選手二十七名 指導部三名

#### ⑤ 九月十日

選手二十九名 指導部五名

※ 強化選手参加率 九十パーセント

### ○ 第十八回

全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会

青森県 0 対 3 愛媛県

青森県 1 対 2 富山県

Aブロック二敗

※ 残念ながら予選リーグ敗退となったが、確実に選手の成長は感じられた。

#### ○ 新型コロナウイルス感染症関連の規制緩和に伴い、少年指導部の強化事業も、以前に行っていた規模・内容に徐々に戻していくことを意識して実施する年度であった。

参加した少年たちは、強化内容に対して非常に積極的に取り組み、相対的なレベルの向上が見られた。

#### ○ 少年指導部の強化事業は、充実した内容でできたと考えている。来年度以降も少年指導に対する基本的方向性を堅持しつつ、

少年たちの特性を十分考慮したうえで、時流に即した効果的な指導を実現できるよう、指導者自身の継続的な自己研鑽が必要と考えている。

### 二 課題の改善策、抱負等

#### ○ 都道府県大会の結果から

試合に臨む緊張感等により、潜在的な能力を余すところなく出し切れたとは言いがたい内容であった。今後は、精神面の成長も

### 三 その他

促せるような指導内容への取り組みを、指導部全体の課題として共有し、効果的な指導実践の協議や相談を重ね、少年たちの成長支援に努めたい。

○ 青森県実業団剣道連盟には、少年剣道指導部に対して継続的な強化費の支援を頂いている。

○ 青森県剣道道場連盟の少年剣道指導部に対する深い理解と応援により、継続的かつ円滑に強化事業がなされている。

以上、二点に対して少年剣道指導部を代表して御礼申し上げるとともに、県剣道連盟内において共有していただきたい事項とする。

## 女子部

### 一 総括

#### ① 女子部稽古会

六月二十五日 (尚道館山野辺道場)

参加者 十二名

#### ② 女子部強化稽古会

八月五日 (尚道館山野辺道場)

参加者 鹿内先生、大寫先生

女子部 十一名

#### ③ 東北女子合同稽古会

十月二十八日

(宮城県加美郡加美町 中新田体育館)

参加者 四名

#### ④ 青森県小学生女子剣道錬成大会

(女子部事業)

十一月三日 (青森大学正徳館)

小学生三十九名、中学生二名(支援)、女

子部員二十名が参加し、基本技を中心に

周り稽古、女子部員との稽古等を行い、

剣道技能の向上及び交流を図った。

### 二 改善策、抱負等

○ 青森県小学生女子剣道錬成会は、事業費削減、子供の減少等と変化している状況にありますが、内容を充実させ、継続・活性化を図っていきたい

○ 国民スポーツ大会も3年後に迫り、県連事業に積極的に協力・参加するとともに女子部として出来る稽古会及び強化を行いたい。

○ SNS等を利用し、県連事業等を各支部から重ねて女子部にお知らせし、積極的な参加を図っていきたい。

### 三 共有事項等

○ 現在、県連強化部の委員は男性だけのですが、国スポに向け女性の強化部委員を必要だと感じています。

令和五年度春季居合道講習会

期日・四月二十二日（土）

会場・みちぎんDS

三十三名の剣士が参加して開催されました。

外崎憲治部長の指導の下、全日本剣道連盟居合の要義と動作を確認しながらの有意義な講習会となりました。



〇居合道中央講習会・地区講習会 伝達講習会

令和五年十月一日（日）、「みちぎんドリームスタジアム」において開催いたしました。参加者は十六名でした。この講習会は「第五十回居合道中央講習会・地区講習会（七月二十二日～二十三日・栃木県）」の内容を県内部会員に伝達する講習会です。

佐藤講師による全日本剣道連盟居合の解説に則った懇切丁寧な解説と模範演武により、受講者は理合と技のポイントについて理解を深め、その後は、全員で技のポイントを確認しながら反復稽古を行い技能の向上を図りました。また、講習会の最後には、全日本居合道大会出場選手が演武を披露し、受講者一同で見取り稽古を行う等、有意義な講習会となりました。

〇第五十八回全日本居合道大会

令和五年十月二十一日（土）

「東京武道館」において開催されました。結果は次の通りです。

【五段の部】松村 明昇

・一回戦〇―③山本（神奈川）

【六段の部】乗上 功

・一回戦〇―③村松（山梨）

【七段の部】吉田 英人

・一回戦不戦勝

・二回戦①―②松野（京都）

【都道府県対抗総合成績】

第四十二位

〇令和五年度秋季県下居合道大会

令和五年十一月二十五日（土）

「みちぎんドリームスタジアム」において、県内各地から二十二名の剣士が参加しました。

今年度最後の大会でもあり、今年一年の稽古の成果を披露する場とともに、次年度に向けての課題を確認する場でもあります。

試合は、各段の選手いずれも日頃の修練の成果を十分に発揮し、迫真の演武を披露しました。

【初段の部】

優勝 内藤 快（弘前大学）

第2位 伊関 豪（弘前大学）

第3位 菅原 大嵩（弘前大学）

【二段の部】

優勝 万城目大空（弘前大学）

第2位 森岡 欽吾（弘前）

第3位 松橋 修三（上十三）

【三段の部】

優勝 新岡 桂（上十三）

第2位 佐藤 政一（下北むつ）

第3位 樋口 颯人（弘前大学）

【四・五段の部】

優勝 松村 明昇（上十三）

第2位 葛巻 盛朗（上十三）

第3位 三浦 修悦（八戸）

午後には、秋季段位審査会が行われました。

・二段合格 一名

○ あとがき

今年度の大会や講習会は、滞りなく実施することができました。参加された部会員の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

今後も「居合道の基本精神」に則り、正しい居合道の普及と技能の向上に部会員一同努めて参ります。

「剣 界」

【居合道の基本精神】

刀は抜くな 抜かすな  
切るな 切らすな  
殺すな 殺されるな  
たとえ大罪人と雖も  
懇切に説法すべし  
詮方無き時は  
袈裟打ちかけて  
成仏せしめよ

（文責・居合道部委員長・角田正美）

杖道部

○ 稽古会

七月二十九日（土）

青森市スポーツ会館

地元講師による稽古会を行った。

級位審査会

一級 一名合格

○ 稽古会

十月七日（土）

青森市スポーツ会館

部外講師による指導の下、基本十二本の単独相對動作の他、全剣連杖道形十二本の修練を行う。

段位審査会

初段 一名合格

三段 一名合格

剣道や居合道を経験したことを前提とした稽古が難しくなっている。太刀についても丁寧な指導が必要となっている。

「剣 界」

剣界(令和 5 年度)

発 行 令和 6 年 2 月  
発 行 者 青森県剣道連盟  
会 長 増田 知幸  
事務局長 鶴谷 直樹

TEL 0 1 7 - 7 8 7 - 2 4 8 5 (F 兼)

E-mail : [aomorikenkendo@ymail.ne.jp](mailto:aomorikenkendo@ymail.ne.jp)

HP アドレス <https://aokenren.jp>